

学校だより

令和8年2月2日(月) 第10号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>



次年度への準備

校長 細井博幸

新年を迎えて1か月が経ち、残り授業日数は3年生が27日間、1・2年生が35日間となりました。1月21~23日、1年生は、インフルエンザが広まり、多くの欠席者がいる中での自然の教室となりました。係が欠席している場合でも進んで助け合い、大きな日程変更や怪我人が出ることもなく、参加者全員で3日間を過ごすことができました。中学校入学後10か月間の大きな成長とたくさんの赤学年の良さを感じることができました。2年生は、委員会活動での新たな取組、部活動冬季大会における活躍など、最終学年への進級を間近に控え、学校のリーダーとして活躍する場面がたくさん見られました。そして、3学年は、私立高校の入試も始まり、志望校合格の嬉しい知らせが届くとともに、埼玉県公立高等学校入学者選抜に向けての出願、学力検査・面接が迫ってきました。これまで積み重ねてきた努力は、必ず皆さんの力になることでしょう。最後の1問まで諦めず、いつもの自分で落ち着いて臨んで欲しいと思っています。



1年館岩自然の教室

1月31日(土)には、「西原小・地域子どもフェス」が西原小学校で開催され、西原中学校も初めて参加をしました。これまでも学校だよりでお知らせしておりますが、2年前から学校運営協議会において検討を重ね、コロナ禍前と同様に西原小・中学校が一緒になって地域行事を実施することができました。次年度以降も学校運営協議会が中心となって、岩槻地区第3体育振興会、青少年育成市民会議岩槻地区会、岩槻歴史紙芝居の会等の地域団体、そして西原小・中学校PTAが連携し、地域と西原小・中学生の大切な交流の場にしていきたいと考えております。引き続き、多くの地域、保護者に御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、学校では昨年12月頃から次年度に向けた準備が本格化し、教育課程・行事・各校務分掌の取組などの検討を進めています。検討する上で根拠となるものが、11月に実施させていただいた学校評価アンケートです。しかしながら、保護者の皆様の回答数は196と実家庭数284の69%に留まっているのが現状です。学校の取組に対して特に不満はないことから回答しない場合もあるかと思いますが、その声も学校評価アンケートを通して届けていただけますと、より正確な保護者の総意をもとに、次年度の学校改善が図れると考えております。御理解、御協力をよろしくお願いいたします。現在、本校では以下の方法で次年度の計画を策定しています。教育課程・各校務分掌の検討は、88項目に分けられた内容について、昨年度と本年度のアンケート結果を数値化したものを比較するとともに、本年度の取組を振り返り、課題を洗い出し、その対応策について各校務分掌で検討しました。その後、全ての教職員が参加する教育課程検討委員会において検討し、さらなる改善を図っています。学校行事につきましては、管理職、教務主任、学年主任、各教科主任を集めて行事検討委員会を実施し、実施時期、内容等について最善策を検討し、決定しています。次年度の年間行事予定については、先週プリント及びスクリーンで配信もさせていただいておりますので、御確認をよろしくお願いいたします。こうして、全ての教職員が関わり検討を重ねた次年度の計画については、2月13日に実施される第3回学校運営協議会にて委員の皆さんの審議を経て、決定となります。生徒、保護者、地域、教職員の声をもとに、今年以上の来年となるよう改善を図っていきます。引き続き、本校の学校教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。